

# 目 次

## 農学科(2013年3月卒業)

### 暖地農学コース

NO	氏 名	題 目
1	猪股 友哉	こうち型集落営農組織からみる高知県中山間地域水田農業の展開方向
2	龍田 知世	中山間地域における農業経営体の課題 ～和歌山県日高川町T経営体を事例として～
3	内田 雄介	炭酸ガス施用温室のガス収支に基づくCO2動態シミュレーション
4	別府園 将伍	農業・農村における女性の社会参画に関する研究 一家族経営協定締結農家を通して～
5	秋澤 慧	中山間地域におけるJA出資型法人の役割
6	粟田 健吉	温室内クリーニングクローブによる環境保全型除塩技術の確立ー立毛湛水時の水・塩類吸収特性ー
7	和泉 遼	園芸施設における新たな炭酸ガス施用手法に関する研究
8	伊藤 将司	温室暖房用燃料としてのGTLの利用に関する研究
9	川野 早紀	倍数性花粉および軟X線照射花粉の受粉で少核化したヒュウガナツの果実肥大と種子発達に関する研究
10	小堀 智絵	CO2施用下における根の養水分吸収特性
11	潮平 憲二	ハウス栽培好適有望矮性バナナの品質特性について
12	須崎 さくら	土佐あかうしの分子系統学的解析による遺伝的分散保存に関する研究
13	須田 有香	閉鎖環境下において培養液中のヒアルロン酸が3種の野菜の生育に及ぼす影響
14	田邊 貢穂	高知県産バラギボウシ( <i>Hosta alismifolia</i> )の種成立起源と組織培養に関する研究
15	種生 ひとみ	In vitroでのレタスの成長に及ぼすヒアルロン酸の影響
16	田村 有紀	稲の感光性に関する晩生遺伝子が穂および粒重に関連する形質に及ぼす作用
17	段家 春花	アスコルビン酸2リン酸がウシ胚の発生に及ぼす影響
18	津田 加奈	高温条件下における中国産および日本産水稲品種の玄米品質および登熟関連形質の品種間差異
19	中内 聡	六次産業化の意義と展望に関する一考察 ～香川県木田郡H経営体を事例として～
20	中澤 春貴	稲の感光性に関する晩生遺伝子が収量および関連形質に及ぼす作用
21	中村 翔悟	施設栽培ナスの夏季における水分消費特性
22	中森 良介	高知県におけるジビエ産業の展開方向について
23	野久保 佳佑	園芸用エコキュート活用のための地中蓄熱槽の開発に関する研究
24	野田 岳	ブルーベリー加温促成栽培におけるシアナミドの最適な処理条件に関する研究
25	浜野 彬	RAPD分析による'水晶文旦'の交雑親推定に関する研究
26	福田 貴洋	LEDによる補光がブルーベリーの生産性におよぼす影響
27	藤崎 千里	凍結乾燥したウシ線維芽細胞の長期保存に関する研究
28	穂岐山 和幸	ハウス被覆資材の種類によるイチゴの収量と品質及び栽培環境への影響
29	松崎 衣里奈	軟X線照射花粉を受粉した'土佐文旦'の果実および種子発達に関する研究
30	松下 茉穂	施設栽培の局所環境制御に関する装置工学的研究
31	的場 紀枝	トマト養液栽培における親水性樹脂培地のリサイクル性
32	水田 一樹	栽培温度がパプリカの生育、果実および花粉発芽に及ぼす影響
33	三宅 可穂	ネズミモチの溪流沿い適応に関する形態学および解剖学的研究
34	山隅 季尋	水稲品種の登熟期における穂の温度および水ポテンシャルと玄米品質の関係
35	山野 結	植物体から抽出した水溶性ジベレリン様物質がマンゴーの果実成長に及ぼす影響
36	吉田 萌実	インドネシア、南スラウェシ州タナトラジャにおけるサトウヤシ( <i>Arenga pinnata</i> Merr.)のバイオマス生産と葉面積
37	郡 七海	凍結乾燥ウシ線維芽細胞の特性についての調査

海洋生物生産学コース

NO	氏名	題名
1	中井 佑	食品加工におけるジュール加熱の利用に関する研究
2	坪川 賛郎	有害赤潮藻類の増殖生理状態を推定可能な新手法の開発:硝酸塩輸送体cDNAクローニングの試み
3	松本 拓也	有害赤潮藻 <i>Karenia mikimotoi</i> および新奇 <i>Karenia</i> sp. の大量培養法の確立
4	阿部 翔太	本邦産シガテラ原因藻 <i>Coolia</i> 属の増殖に及ぼす水温・塩分の影響
5	大黒 司貴	<i>Edwardsiella tarda</i> 由来のGAPDHのDNAおよび組換えサブユニットワクチンを用いたブリのノカルジア症に対するワクチン効果の検証
6	河内 研人	母系遺伝標識に基づくウツボ科魚類の遺伝的類縁関係とウツボ <i>Gymnothorax kidako</i> の遺伝的集団構造
7	倉松 涼子	海産微細藻類によるタンパク質分解の可能性:藻類培養株のエンドペプチダーゼ産生能
8	栗原 董	コイヘルペスウイルスに対するin vitroでのナノポリマー粒子の抗ウイルス効果の検証
9	河野 まどか	高知県浦ノ内湾の造成カジメ場に出現する魚類の群集構造
10	小西 千鶴	シログチ冷凍すり身の加熱ゲル形成能に対するシスチン及び臭素酸カリウムの添加効果の比較
11	佐藤 光	高知県沿岸域における熱帯性植食魚類と温帯性植食魚類の生息場利用の違い
12	志水 謙太	クルマエビクラスタンアニンのパラログ遺伝子に関する研究
13	鈴木 龍太	高知県横浪半島に生息する肉食魚のイセエビに対する捕食の有無
14	多田 里紗	ミトコンドリアDNA・RFLP遺伝標識により得られたカサゴ2タイプの塩基配列差異と2タイプの日本における分布
15	田中 里沙	形質転換によるポツリオコッセンを生産する海産珪藻株創生の試み
16	谷口 貴大	有害・有毒藻類の増殖に及ぼす光の影響に関する生理・生態学的研究
17	早川 由真	表面凹凸寒天培地を用いた有害赤潮藻類の固体培養の試み
18	松本 泰明	ブリ稚魚のタウリン要求量
19	藪本 麻央	輸卵管腺由来の画分を用いたアオリイカおよびスルメイカの人工受精
20	山崎 憲一	高知県内の河川に生息しているコイにおけるコイヘルペスウイルスの保有状況及び体内動態
21	山田 沙恵子	土佐湾・浦ノ内湾表層におけるカイアシ類ノープリウスの組成と微細鉛直分布
22	吉岡 拓也	沿岸域の有光層中部に発生するシガテラ原因藻 <i>Gambierdiscus</i> 属の諸特性の検討
23	渡辺 裕磨	吉野川水系と香川用水をつなぐ導水トンネルは異なる水系への魚類の侵入を引き起こすか

食料科学コース

NO	氏 名	題 名
1	下山 亮輔	植物の生理活性物質の探索－高知県野生植物の忌避活性－
2	阿南 沙織	高知県佐川町のイチゴハウス土壌における養分集積状況
3	井上 隆司	草原退化に伴う土壌粘土鉱物含量および組成の変化
4	戒 智世	イタドリ ( <i>Fallopia japonica</i> ) の抗酸化物質の解明
5	岡野 佑里子	光学活性3-アミノヌクリジンの合成に有効な新奇酵素を有する微生物の探索
6	徳永 健人	イタドリ ( <i>Polygonum cuspidatum</i> ) のチロシナーゼ阻害活性と関与成分の解明
7	木下 あゆみ	高知県北川村産実生ユズの特性
8	桑名 依純	イネのニッケル集積に関わる輸送体の探索
9	妹尾 香苗	ポリアクリル酸イオンコンプレックスの開発
10	早田 祥栄	近赤外・中赤外分光法による魚箱付着物質の推定法に関する研究
11	曾我部 翔太	近赤外マッピングスキャンによる食用卵の個別消費期限推定法に関する研究
12	高橋 詩織	カヤ ( <i>Torreya uncifera</i> ) の実に含まれる抗高血圧活性物質の探求
13	竹本 侑馬	イネのマンガン恒常性に関与するCDFファミリータンパク質の解析
14	鶴藺 克敏	新規人工シデロフォア―鉄錯体の植物への利用効率の評価
15	福嶋 和貴	ゼブラフィッシュ卵子における高浸透圧による傷害の低減の試み
16	正岡 詩野	基石茶に含まれる3T3-L1脂肪前駆細胞の分化抑制物質
17	松木 恭伸	ホスファチジン酸を介した植物免疫応答に関与する遺伝子ライブラリーの構築
18	松橋 玲子	Tabtoxinine- $\beta$ -lactamによる植物細胞死・壊死病斑誘導における低分子Gタンパク質の役割に関する研究
19	宮奥 晴菜	<i>Burkholderia</i> sp. HME13Iに由来するチオールウロカニン酸代謝酵素の機能解析
20	森本 ゆかり	高知県産ウバユリ ( <i>Cardiocrinum cordatum</i> ) が示す血圧上昇抑制効果
21	山口 優	冷凍食材の鮮度管理に関する文献調査研究
22	吉村 彩	<i>Pseudomonas</i> sp. YR1由来L-erythro- $\beta$ -ヒドロキシアミノ酸代謝酵素の精製と機能解析
23	與那原 由貴	青枯病細菌に対する <i>Nicotiana benthamiana</i> 植物の免疫応答におけるジアシルグリセロールキナーゼの役割に関する研究

生命化学コース

NO	氏 名	題 名
1	川上 佳祐	ブーアル茶中に含まれる抗酸化物質の解明
2	櫛野 智也	電解還元水を用いて栽培された野菜類の抗酸化活性
3	荒井 明花	ラット胚の水/耐凍剤透過性と耐凍剤毒性に対する感受性
4	上田 真二	イネの抵抗性メカニズムの解明 —オカボノアカアブラムシの加害—
5	大石 和矢	青枯病菌 <i>hrp</i> レギュロン制御カスケードの植物体内における発現解析
6	大内 崇嗣	冷蔵保存マウス胚の生存性におよぼすケルセチンの保護効果
7	大辻 賢太郎	<i>Rehmannia mosaic virus</i> 日本株感染トマト植物における温度感受性の全身壊疽誘導に関わるウイルス因子の同定
8	大橋 奈奈	システインデスルフラゼの活性化に関与するタンパク質群の解析
9	影本 貴大	オガタマノキに含まれるミカドアゲハ幼虫の摂食刺激物質の探求
10	金井 彩紀	ゼブラフィッシュの未成熟卵子に対する耐凍剤の毒性
11	兼光 珠里	ガラス化保存液中でのマウス卵子の耐凍剤透過特性に関する研究
12	黒田 奈央	ブタ卵子における低温傷害のメカニズムの解明
13	桑江 友希	マレーシアの定植後年数の異なるアブラヤシ園における土壌の一般理化学性の比較
14	耕崎 美有	マレーシアのアブラヤシ園における養分動態～アブラヤシ葉の各種元素含有率～
15	近藤 菜月	地場産品と野生酵母の特性を活かした発酵種を用いた製パン法
16	竹田 こずえ	各種吸着剤のヒ素とインジウム吸着特性の評価
17	谷口 美佐登	アブラヤシ農園の土壌有機物の比重分画法による特徴付け
18	新山 元春	放牧・観光などの人間活動が草原土壌に与える影響
19	野尻 修佑	柚子果皮の肉用牛飼料としての利用に関する研究
20	白米 優一	枯草菌 <i>EdmS</i> ( <i>PgsE</i> ) タンパク質はエビソームの維持に関与している
21	橋本 隆弘	ELISAによる農産物中のオスモチン定量法の開発
22	羽二生 綾	高知県産有用植物に含まれるチロシナーゼ阻害活性物質の単離と構造決定
23	濱崎 桃子	水/耐凍剤透過性チャンネルの発現によるゼブラフィッシュステージIII中期卵子の耐凍性向上の試み
24	森 菜津美	植物性資源に由来する乳酸菌の探索とドクダミ青汁を利用した乳酸菌飲料の開発
23	山川 翔一	<i>Ralstonia solanacearum</i> タイプIIIエフェクターの <i>Nicotiana benthamiana</i> における一過的発現系の確立
24	山添 日香里	新規カラギーナン分解酵素の性状解析

自然環境学コース

NO	氏 名	題 名
1	采 佑斗	物部地区太陽光発電システムの性能評価とそれに基づく四国地域の発電ポテンシャルのマッピング
2	大木 志保	エダマメ・カブに対する麦飯石利用農法による効果の検証
3	折戸 麻耶	ツリガネニンジン <small>の</small> 溪流型分化に関する発生学的研究
4	栗林 早紀	サワガニを用いた系統進化学的研究
5	小林 翔馬	放射ポーエン比法を用いた沿岸域水田からの蒸発散評価
6	島崎 祐樹	ライントランセクト法を用いた高知県東部におけるトンボ相に関する研究
7	瀬尾 晃平	植物の生理活性物質に関する研究—高知県野生植物の昆虫成長阻害活性と植物生長阻害活性—
8	高山 すずか	高知大学農学部物部キャンパスにおける訪花昆虫相
9	堤 百世	スイートバジルに対する電解水の効果検証
10	橋口 友希子	地域連携による硬質小麦の栽培に関する研究
11	平井 千瑛	土着天敵クロヒョウタンカスミカメの生物的防除資材としての有効性に関する研究—施設栽培キュウリにおける害虫防除効果と増殖時の産卵基質について—
12	藤原 香苗	オオムラサキシキブの海岸地適応に関する形態学的研究
13	増田 智恵子	カシノキハダニの雄間競争とサイズの関係
14	松盛 啓悦	ホオズキカメムシの卵寄生蜂 <i>Gryon philippinense</i> の野外における寄生率と越冬場所に関する研究
15	湊 由香里	キシツツジとモチツツジの開花期と交雑に関する研究
16	山田 悟	ムラサキケマンの矮小化による被食回避に関する研究
17	山本 芙由美	高知県固有植物アズリノジギクの海岸地適応に関する形態学的研究
18	吉岡 憲弘	溪流沿い植物“アワモリショウマ”を用いた葉形態の河川間比較

流域環境工学コース

NO	氏 名	題 名
1	野村 昌平	石土池における水環境の動態把握と外部環境に対する応答性の解明
2	NGUYEN QUANG LAP	谷埋め盛土を対象とした地盤物性と耐震照査に関する研究
3	青屋 孝誌	生態系・生物多様性の観点から見た絶海池の水環境評価
4	小川 大貴	畦畔における雑草繁茂の抑制 —廃石膏が土壌に与える力学的影響の検証—
5	吉良 友哉	津賀ダム貯水池における濁質の流出軽減に向けた流れの数値解析
6	都甲 満	窒素溶脱解析ツールSOILN-jpnを用いたクリーニングクロープ栽培における窒素動態の解析
7	長崎 勇樹	土壌水分制御と有機物施用量がヒマワリの初期生育に及ぼす影響
8	松山 歩未	小豆島沿岸における水産資源の再生に向けた基礎的研究 —小豆島町当浜地区周辺海域を事例として—
9	山崎 直哉	巨大地震に耐える防波堤のマウンド材に関する研究
10	山下 大貴	農業用水路における適切な粗度係数推定法に関する研究

## 森林科学コース

NO	氏 名	題 名
1	川村 聡志	高知県土佐香美エリアにおける小学校の農・林業体験学習の現状と課題
2	安達 歩美	中山間地域で行われるランニングレースの現状と課題
3	天野 友美	林地に散布した木質チップの移動と分解に関する研究
4	川勝 正貴	ディーゼルエンジンにおける樹木精油添加燃料の燃焼効率
5	行場 桜子	ワサビタケの辛味成分と有用性について
6	清岡 優貴	高知県沿岸部低山帯の森林土壌の撥水性について
7	上坂 教将	さし木・接ぎ木による品種の育成状況とその展望
8	百目 鬼梓	スギ花粉症対策品種に関する現状調査と一考察
9	中岡 広子	オゾンを活用した使用済み紙おむつの新規リサイクル技術の開発ーオゾンによるSAPの分解挙動の解析ー
10	西岡 沙姫	応力波伝搬速度と材の曲がりによる立木状態での強度推定
11	比江 森春花	ヒノキ人工林の強度間伐が高木性広葉樹の発生・定着に及ぼす影響
12	本田 昇	放置竹林の資源化と搬出の省力化について
13	道原 大貴	高知県におけるニオウシメジの人工栽培と成分解析
14	森 大記	林業専用道および森林作業道における路体構造と強度
15	森本 大貴	10mメッシュ標高データを利用したH型架線の索張選定に関する研究
16	四谷 多弥	生活型の異なる高木性樹種の幼木の葉の被食防御

国際支援学コース

NO	氏 名	題 名
1	大西 史帆	アメリカセンダングサのキサンテン酸化酵素阻害成分の探索
2	竹内 加織	熱帯汽水域の放棄養殖池におけるエビ類と魚類の分布パターン
3	石間 裕人	インドネシア、南スラウェシ州タナ・トラジャにおけるサトウヤシ ( <i>Arenga pinnata</i> Merr.) の樹液およびデンプン生産性
4	岩崎 弘晟	タイ北部チーク植林地におけるタケ群落下の土壌特性
5	上田 有美子	中山間集落における土地利用別の土壌肥沃度特性－高知県大豊町怒田集落の事例
6	小川 智子	土壌物理性の違いがチーク植林木の成長に与える影響の解明
7	梶野 大地	高知県南国市における有機米生産－有機栽培農家の事例－
8	金倉 恵	大豊町東豊永・西峰地区住民の買い物の現状と課題
9	神里 亜希	地図と漁業統計から分析した浦戸湾の変遷
10	佐々木 語	大豊町の農産物直売店の売り上げ向上に向けた調査と実践
11	澤田 あおい	酸化チタン-活性炭複合材料を用いた1,4-ジオキサンの吸着・分解除去に関する研究
12	田中 ちよ乃	航空機LIDARを用いた森林内の光環境の解析
13	塚本 諒	樹木の葉脈密度の地理的変化
14	西原 爽和子	沖縄産マメ科植物エキスの抗乳がん作用
15	橋本 唯	インドネシア・西カリマンタン州・スカブ村における薬用植物の民族植物学的研究
16	本家 直人	嶺北フィールドに生育するヤマザクラの衰退原因の検討
17	松本 真里奈	熱帯・亜熱帯産ヤブコウジ科 <i>Ardisia</i> 属植物エキスのエラストラーゼ阻害作用
18	宮澤 譲治	SRIIに対する草型を異にする稲品種の反応性の差異



## 目 次

### 農学科(2014年秋卒業)

#### 海洋生物生産学コース

NO	氏 名	題 名
1	竹澤 元	大豆油粕がブリの腸管に及ぼす影響

#### 流域環境工学コース

NO	氏 名	題 名
1	DAUNDY BERNARDIKU S PATRICK	転換畑におけるヒマワリの生育と蒸発散量に対する有機物施用の効果
2	原 静花	現場打ちコンクリート畦畔におけるひび割れと新規被覆材の漏水防止効果に関する研究

#### 森林科学コース

NO	氏 名	題 名
1	中野 比菜子	高知県のシシ垣に関する一考察 ―文献調査と現地調査をもとにして―

#### 国際支援学コース

NO	氏 名	題 名
1	白木 麻紀	甜菜懸鈎子の微量配糖体の構造と甘味

## 目 次

### 旧学科(2013年3月卒業)

#### 生産環境工学科

NO	氏 名	題 名
1	高橋 篤史	ポーラスコンクリート壁選定のための騒音環境調査